

## 府中市生涯学習審議会（平成22年度第2回） 会議録（案）

1 日 時 平成22年5月31日（月）午後2時～4時

2 場 所 府中市生涯学習センター 1階会議室

3 出席者（敬称略）

(1)委員12名

加藤 佑子、西勝 義恵、澤井 幸子、設楽 厚子、芝 喜久子、白井 紀子、  
鈴木 映子、寺谷 弘壬、平形 芳郎、比留間 一磨、三宅 昭、山内 啓司  
※坂本委員、奈良委員、野本委員は欠席。

(2)職員4名

澁谷生涯学習スポーツ課長（途中退室）、  
山村生涯学習スポーツ課生涯学習推進担当副主幹、  
市ノ川企画係長、大木  
※齋田文化スポーツ部長は欠席。

4 連絡事項

1) 配布資料の確認

①レジュメ、②前回会議録（案）、③小委員会まとめ（案）

2) 前回議事録の確認について

各委員に校正を依頼した会議録（案）は、一部校正後、市民に公開すること、ホームページに掲載することが了承された。

5 協議事項

1) 平成22年度全国社会教育委員連合会表彰候補者の推薦について

比留間副会長を推薦することが決定した。

2) 小委員会のまとめについて

以下のとおり意見交換が行われた。

[意見の趣旨] ■：委員 ➡：事務局

■ 小委員会は、西勝委員、鈴木委員、三宅委員、山内委員と私の5人で進めてきた。5月10日、21日午後6時半から9時近くまで生涯学習センターで審議を重ねてきた。まず、それぞれ個人で指定管理者制度の導入についての意見をまとめて提出し、それを事務局で付け合せて叩き台を作っていた。そして2日間審議を重ねてきたものが、皆さんのお手元に届いていると思う。まだまだ未熟だと思う。訂

正も必要だと思うので、今日は皆様の目で確かめていただき、ご意見をいただき完成できたと思う。事前にお送りできなかったのは、申し訳ないと思うが、期限が短かったので、お詫びする。まず事務局に読んでいただき、審議に入っていく。

(事務局 読み上げ)

■ それでは、皆様からご質問をいただきたいと思います。「てにをは」の部分でもおかしい部分があれば教えていただきたい。

■ 1ページの最終行「連携を図ることができないかも含めて」はあまり良い文章ではないので、「連携を図ることができるかも含めて」に変えてはどうか。

(一同了承)

■ 全体が1, 2, 3とまとめに分かれているので、まずは1の部分でご意見はあるか。

小委員会の中でも皆様が審議会で出していただいたご意見を入れながら作成した。

■ 短期間でこれだけのものを作るのは、ご苦労なさったと思う。内容的にも良いのではないかと思う。

■ 下から8行目の「地区公民館講座と学習センター」からは改行した方が良いと感じた。その前までは「検討外である」と言い切っている。それとこの後を繋ぐのは、おかしいかなと思う。

■ そこは改行するということでよろしいか。

(一同了承)

■ 次ページの「指定管理事業者が実施できる業務」について、ご意見はあるか。

■ これはお役所の書類だからか、前回まとめた中間答申と全く形が違う。これが正式なのか。見るからに文章が漢字ばかり並んでいるという感じがする。これが正しいというか、通常のものなのか。

■ 使う用語が難しいから、そうになってしまうのではないか。

■ 下から6行目の「指定管理事業者と実質の連携は」の部分はどういう意味なのか。語句も難しい。

■ これは私たちが役所に向けて発信するものなので、他所の人が理解できないような文章だと困る。

■ これは役所向けの文書なのか。オープンにするのか。

■ オープンにする。ただ、これが役所向けとか、市民向けとかは意識せずに小委員会で作りあげた。どういうふうに変えればいいのか教えていただきたい。

■ 書体を変えればいいのか。この書体はなにか。

- ➡ 明朝です。
- 堅い感じがする。でも漢字はいたしかたがないのではないか。これ以上、ひらがなを使えないと思う。
- 隙間もない。
- 文章が詰まっている感じがするが、漢字とかの違和感もなく、すごくまとめていると思う。
- 例えば(1)、(2)というようにすると見やすくなるかもしれない。この中でいくつかあるが、施設部分はほぼ移行できると言っている。あとは大きな課題である宿泊施設とレストランをどうするのか。そういう項目を一応順番に書いてあるので、そこに番号を振れば文章がずっと続いているよりは分かりやすくなる。
- でも短期間でここまでまとめて大変だったと思う。
- 用紙に空間がないから…。
- 先ほど先生がおっしゃったように項目別にするとか、見やすい形に変えれば、おかしな感じにはならないと思う。
- 少し空間を利用して、読みやすくする。内容としてはよろしいか。
- 先ほども言ったが、下から6行目の「指定管理者と実質の連携は」の部分はどのような意味なのか。
- ➡ 大学と連携するのはあくまでも市だが、実際に、実質的に内容を詰めていくのは指定管理事業者がやるので、「実質」ということ。大学と市が連携をするが、それを実際に動いてやるのは事業者なので、実質的には事業者がやるということ。
- 市と大学が連携をして講座をやる契約をして、具体的にそれをどう進めるかとか、どういった中身を盛り込んだものに組み立てるか。また、市が組み立てたものに基づいて指定管理事業者も入って、さらに進めて内容を形にしていく。事業者もそれに十分関わっていけるということですよ。
- ➡ そうです。
- 「夜間の講座」というのは、見学したところで実際に実施されているのか。
- ➡ 流山市はやっていた。1日3コースあって、その1コースとして午後6時～8時でやっている。ここには専門のパソコン指導員がいる。
- ➡ 生涯学習センターも一部夜間講座をやっている。
- 勤めている方はやはり夜間ではないか。
- 生涯学習だから若いうちから何かやっておかないと、定年した後これから始めるというときに難しいと思う。やはり夜間学習は大事だと思うので、夕方5時くらいからやっていただきたい。
- 3ページ3行目「新たな減免規定の発生や」のところの意味を教えていただきました

い。

- 協定書の内容ですね。
- つまり、最初の仕様書段階では想定していなかったことが発生して…。わかりました。
- では次の「3市民との協働として進めていくべき業務」について、ご意見をいただきたい。
- タイトルのところで「市民との協働として進めていく業務」でいいのではないかと。「べき」と言い切っているのか。
- 「進めていってほしい業務」なので「べき」と入れた。そこはいらぬのではないかと。
- 4ページの真ん中あたり「地域の担い手（ファシリテーター）的な役割を果たす人材（例えば、小・中学校長をはじめとする）」とあるが、この「小・中学校長」というのは一般的に「地域の担い手」として理解されているのか。
- 私もそう思いました。ここで「例えば」と例を出す必要があるのか。
- 例えばという例なので、いいのではないかと。
- 小中学校の校長先生は地域との連携をとりながら、コーディネートできる立場にいらっしゃる。放課後子ども教室等もある中で、誰がファシリテーターになれるのかと小委員会で出たので、小中学校長が一番人材を良く知っていらっしゃるし、それが出来る立場ではないのか、ということだった。
- 校長の役割というのは、学校という地域のいろいろな意味で中心的な活動の場を提供している。子どもたちに学習をさせるのが主になっているが、総合的な学習を含めて様々な教育活動・体験活動を豊かにしていき、仕組みを作り、組み立てて企画をしていくというふうに、学校長の経営方針を設けてやるので、校長の役割というのは、今まで以上に地域と繋がって、その安全面や学習面等を総合的に判断して対応している。

学校によって状況は少しずつ違うが、私は自分の経験を含めて考えてみた時に、情報は校長に集まってくる。実務的には副校長が細かいところを進めていたりするが、判断は校長がしてネットワークを作る。あとは団体と相互にイベントを組み立てたりする。一番安全で動きやすい、力を持った学校は活性化するし、地域が校長に限らず、ファシリテーター等と一緒に学校を中心とした地域の活動を豊かにしていく基になると思う。そういうことを意図的に進めている校長が何人もいると思うので、総合的な学習の中でこういう活動をしているということ、具体的に中間答申の中にも書いてある。何もしていないのではなく、具体的にそういった実績を持っている状況が府中市にはあるので、それを例えで出した。

学習センターでは、ファシリテーターの養成講座を新しく組み立てる企画があるようだが、実質的に実績がある役割を担える人達が、学校だと校長なのかなと思う。

- いわゆる文化センターの所長、自治会の会長もそういう役割を持っている。
- ただ所長とか会長だけではなく、もうちょっと補足して広げていくと、そういう人たちにファシリテーターの役割を担ってもらおうと地域での繋がりが綿密になって、実績としても良いものが出てくるのではないかなと思う。
- 聞いていただけでは、やはり説得力がないし、誰が中心になってやっていくのか、ファシリテーターはどういうことなのか、という話になるので、この例は必要だと思う。
- 後に「地域のネットワークを広く持つ人材」となっているので、小中学校の校長先生だけではないという捉え方が出来ると思う。
- 現実に校長先生がいろいろな行事に参加してくれている。
- やはり情報を収集する拠点になっている。
- ではここに「小・中学校をはじめとする」と入っているので、例はそのままでよろしいか。

(一同了承)

- では最初にあった、タイトルの「べき」はいかがか。
- 強調できるので、あってもいいと思う。
- 特に重要な部分だし。
- ご理解をいただき、「べき」を入れさせていただく。

(休憩)

- 5ページのまとめで、ご意見はあるか。
- まとめの3行目「その一環としての指定管理者制度の導入である点を十分踏まえたうえで」の部分は、表題で「指定管理者制度導入に向けて」と提案しているが、また「指定管理者制度導入を踏まえ」と何度も繰り返す必要はあるのか。
- 府中市に生涯学習の方向をしっかりと見据えていただきたいということですよね。その一環として指定管理者制度の導入を十分踏まえたうえで計画を進めてほしいという小委員会の願いだったのだが…。
- 将来方向を見据えたことも一緒に考えてほしいというところを言いたかった。
- しつこく感じられる部分がたくさんあると思うが、でもしつこく言いたい。
- ➔ 指定管理ありきの生涯学習ではなく、生涯学習ありきの指定管理だということを強くおっしゃりたいのですよね。

- しつこく言わないと方向が変わってしまいそうで・・・。
- 指定管理者制度の導入ということをもう一度言っておきたかったのですよね。だから入れてあるのではないか。必要だと思う。
- よくわかるが、一気にやらずにじっくりやってほしいと言う事で、もう一回内容を作られるのかわからないが、例えばソフトの問題でももう少し順番をつけて具体的に提言された方がいいかもしれない。これまだ内容を検討されるなら別だが、今NHKに委託してやっていることに対して、上手くいっているのか、いっていないのか、あるいは府中市と市民が検討して講師を選択すべきとかを具体的に瞬発する順序があるといいと思う。

また、わからなかったのが、下から9行目。学び返しは「互助」であって、「自助」「公助」ではないようだが、「学び返し」というのは、だいたい年配者が若い人に、かつていただいた知識や技術を伝えるのが「学び返し」だと思っていたが、「互助」というのは、年寄り同士が交換するという意味なのか。それから「自助」とか「公助」がこれまでにでてきたのか。

- この言葉が出てきたのかということか。これは小委員会で出てきた言葉です。
- 「学び返し」は「自助」でもあり「公助」でもあるのではないか。「公助」とは何か分からないが、公からお金を貰って少し学び返しをしているという意味で「公助」だと思うが、「互助」に限定するのか。意味を教えてください。
- 小委員会の中では出てきた言葉でお話いただいて、納得してまとめとして載せさせていただいたが、少し「互助」についてご説明いただけるか。
- あまり難しくは考えていなくて、自らを高めていくとか学んでいくとか、という意味の言葉として「互助」を理解していた。お互いに学びあうとか、教えあうというものを言葉で考えた。公的な機関が学びやすい状況作りをしていくという趣旨で「公助」という言葉を上げた。いろいろな区分けの仕方があると思うが、そういう3つ言葉の視点から見たときに学び返しというのは新しい視点の一つなので、相互に学びあうとか、高齢者から若い人にと年齢や性別等を限定せずに、そういうさまざまな学びあう姿を自分の中では考えて、こういう言葉の使い方で区分けをして考えてみた。

だから、どちらにしても学び返しは我々が進めようとしている部分もあるので、その中で学び返しだけでいいかということではなく、子どもたちを含めた若い人を考えると、自ら学んでいくというスタンスはあって然るべきだし、これは次から次へと生まれてくるものだと思う。自ら学ぶというスタンスだけではなく、もっと学びあうというスタンスを生涯学習という事業を推進していくときに大事にしていきたいというのが、学び返しの趣旨なのではないかと思う。お互いに関わりの中

で学んでいくという理解の中で考えると「互助」という言葉の中に振り分けられると考えた。人との繋がりとか、お金の継続というか、補給してもらいながら府中の生涯学習を進められるということが必要なのではないかとということで、こういう言い方をしてみた。私の勝手な解釈に近いかもしれないが…。

■ 小委員会の中でもそういうお話をいただいて、必要だと判断したのでここに入れてさせていただいた。

■ 今おっしゃったのは「自助」でもあるし、「公助」でもあるし学び返しが「互助」だけではなく、自発的になって「自助」でもあるし、市から援助をしてもらわないとできないので「公助」でもあるし、分ける必要があるのかどうかと思った。学び返しが「互助」であるが、それ以外の点もやらないといけないとか、学び返しの中にその2つも入っているのではないかと。他は具体的だが、この節だけ哲学的な感じがする。この3つのほかにも「助」があるのではないかと考えた。私だけの意見だが「互助」だけではないと思うが、学び返しが「互助」だけなら小さなものになっていくので、当然「自助」もあり、教わる点もあるだろうし、あるいは下の方に「人・モノ・お金」とあるので、「公助」もその中に入るのではないかと考えた。

■ いろいろな受け取り方があるので、ここに載せることはないと思う。すっきりするところは、すっきりさせた方がいいと思う。

■ ありがとうございます。

それと今審議していただいている「府中市生涯学習センターの指定管理者制度導入に向けて」の位置づけとしては、これだけでは答申ではないので、前期の中間答申と、このまとめ、それと今後審議するものを含めて、きっちりした最終答申として教育長に提出させていただくものです。今時期的に市の方で進めているので、意見書として出させていただく。「自助」「互助」「公助」は抜いてよろしいか。

(一同了承)

■ ではこちらは答申の方に活かさせていただく。

■ あと一つ提案だが、最終答申でもいいが、事務局から出していただいた「生涯学習センターの業務と指定管理制度」の表を使わせてもらって、事業ごとの現況とこれに対する審議会の意見を対比させた表を作るといいと思う。例えばレストラン業務の現況は（行政財産の目的外使用許可）だが、その横に委託なら委託というふうに審議会としての意見を書くと分かりやすいと思う。

■ ありがとうございます。ではそれは次のときに。

全体を通して何かあるか。

■ 「1.市が直接実施・検討すべき業務」の中に費用的なものを入れてもいいのではないかと。最後の「人・モノ・金」は少し言い方がきついという意見もあったが、

市からお金がなくては何もできないのではないか。そのお金も部分を「1」の部分に強調して入れるというわけにはいかないか。「大規模修繕の費用負担などの施設維持費用、今後の学習センターの運営管理方針の市が実施すべき事柄」と言っているが、建物の維持管理は実際にもっとお金がかかるではないか。

- 指定管理者制度になって、その業者が生涯学習センターを運営していくが、その中で業者が知恵を働かせながら赤字にならないような、努力をしていただきたいというのも一つの目的です。
- それは契約を結ぶ時の部分ですね。
- ➔ 行財政改革に基づいて、指定管理料のコストを抑えて、業者はなるべくその中で儲けを出るようにしていただく。減らしたから減らした分をどこかにかけようかということ、指定管理者制度の中の考え方ではない。
- 公開講座は市が直轄してやっていく業務だが、それは市の予算を入れて多くの人が生涯学習を受けられるようにしてほしいという願いが入ってはいる。
- 市とか業者に対してのそういう要望も大事だが、去年一年間、学び返しをテーマにしていたが、この中に学び返しが3回しか出てこない。もうちょっと遠慮せずに、学び返しを中心とする指定管理者制度の導入問題を云々した方がいいと思う。指定管理者制度は市の負担を軽減して上手く効率よくしてもらえばいいというのは最低の願いであって、せっかくこんなに回を重ねて生涯学習審議会をやっているのだから、学び返しをキャッチフレーズにした以上は、それが中心にあるという指定管理者制度の導入を考えてはどうか。もうちょっと強調した方がいいと思う。それでないと他の都道府県も参考にしてくれないのではないか。
- 市に伺うが、学び返しというものを最終答申に入れていくということで、間に合うか。
- ➔ 最終的な形では、「第2次生涯学習推進計画に向けて」という諮問の答申になるので、第2次推進計画の一番の議題が学び返しなので、それを具体化するための方向とか具体的な提言を皆さんにお聞きしているという状況にある。去年は中間答申で全体的な形をいただいたが、今年は推進計画の推進体制の中の一つの柱であるところの指定管理者制度について具体的なご意見をいただいているところです。ですから、推進計画の重点政策や重点事業として、特にファシリテーター養成があるので、すべてが具体的な「学び返し」ということで議論していただいているということが大前提にある。学び返しを具体化するための講座として、年内にいただく答申にはそのことが入ってくると思う。
- ありがとうございます。
- そうすると、まとめのところで生涯学習の推進基盤として「自助」「互助」「公助」

が学び返しの中心とすることを推進したいと載せたほうが良いと思う。三者で頑張っていくということを提言するというで削除しないで入れた方がいいと思う。

- 必要であるということを書けばいいですよ。
- 最後のところに「挙げればきりがなが」と締めくくっているの、ここから削られたからと言って、完璧に学び返しが消えていくことにはならないと思う。そもそも指定管理ということの概要だけを打診しているので、中身まで入ってやっていない。こういう方向で行っていただければいいという答申案です。
- 学び返しという言葉をもっと強くしていく部分は、次の答申の中にしっかり皆様のご意見を入れて、最後の答申で伝えていくという形よろしいか。

(一同了承)

- 市の方に早く提出しなければならないので、お許しいただけるようなら今日の部分、タイトルの「学習センター」を「生涯学習センター」に、1ページの下から8行目を改行する、下から2行目「連携を図ることができないかも含めて検討を」を「連携を図ることができるか検討を」に変えていただく。2ページの下から6行目「実質の連携」を「実質的な連携」、それからまとめの「自助」「互助」「公助」については、次の答申の中で皆様としっかり議論したいと思うので、ここは省いて出すということよろしいか。

(一同了承)

## 6 その他

次回の審議会開催について

第3回：6月28日（月）午後2時～4時

府中市役所北庁舎3階 第5会議室